

龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030（案）  
パブリックコメントによる意見募集の結果について

令和4年10月

龍ヶ崎市市長公室企画課

## パブリックコメントに提出された意見とその意見に対する市の考え方

計画等の名称	龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030		
意見提出期間	令和4年9月6日（火）～令和4年10月5日（水）		
意見提出者数	9件（個人8件・団体1件）	意見件数	48件

No.	意見 No.	意見の概要	市の考え方
1	1	活気ある街をめざし、子育て支援日本一の施策を立てる。	龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030（以下「本計画」といいます。）では、前期基本計画において、この4年間（令和5年度～8年度）の施策のうち、特に重要となる施策を「リーディングプロジェクト」として位置付け、その中で子育て支援や少子化対策、にぎわいづくりに重点的かつ優先的に取り組むこととしています。
2	2	太陽光発電設備が市内にこれまでにない勢いで建設され、市民の苦情を耳にする。地域住民への事前の説明が適切に行われているか、市として確認や実態の公表をお願いしたい。また、市条例をはじめとする関連法規等が適正に運用されているか、PDCA サイクルの進行管理が正しく行われているかも確認してほしい。	本市では平成28年に「龍ヶ崎市自然環境等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」を制定し、事業区域の面積が500平方メートルを超える事業実施に際しては、事業者に対し地域住民等の理解促進等の措置を求めているところです。 本計画の将来ビジョンにおいても、まちづくりの基本姿勢として「市民に信頼される「納得性」の高いまちづくり」を掲げており、市民への説明責任を果たすための積極的な情報発信や意見交換などを通じて、市民との相互理解の深化に努めることとしております。 引き続き、本条例の適正な運用に努め、市民と事業者、行政の情報共有・共通理解を前提とした立地の適正化を図ってまいります。
3	3	障がい者が安全・安心が実感できるまちになるよう、本計画にもそのビジョンを示していただきたい。	本計画では、政策の柱の一つに「共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり」を掲げ、障がい者福祉の充実に向けた取組を推進していくこととしています。 具体の施策として相談体制の強化やサービス提供確保、就労機会の提供などに取り組んでまいります。
4	4	将来ビジョンの「6 政策の柱と施策（施策の大綱）」の「7つの政策の柱」と「政策実現に向けた横断的取組」に分けた経緯説明があると分かりやすい。	ご指摘を参考に、次のとおりの記載を冒頭に追記します。 『「将来に向けた本市のあるべき姿」を達成するため、取り組むべき政策を分野ごとに「7つの政策の柱」として整理するとともに、各分野に共通する取組については「政策実現に向けた横断的取組」として別に柱を掲げます。』
	5	将来ビジョンの「図表13 政策の体系の全体構成」については、「6 政策の柱と施策（施策の大綱）」の文章記載の前に持ってきた方がよい。	ご指摘を参考に修正します。

6	<p>前期基本計画の「2 施策の体系」における「関連する分野別計画」については、別途参考文献としてリスト化したほうがよい。また、計画名称については正式なものとし、所管課を付した方が分かりやすい。</p>	<p>政策体系と分野別計画がどう紐づいているのか、分かりやすさを重視する観点で、施策の体系の表に「関連する分野別計画」を記載し、計画名称も冒頭の「龍ヶ崎市」といった記載を省略して記載したところでは。</p> <p>また、所管課についても、組織機構の変更などで名称等が変わる可能性があることから、混乱を避ける意図で記載しておりません。前期基本計画に基づき毎年度作成するアクションプランにおいて、所管課については明記していきます。</p>
7	<p>前期基本計画に掲げる「リーディングプロジェクト」と施策の体系が順不同になっている。「リーディングプロジェクト」については、施策の体系としても特出しし、アピールすべきではないか。</p>	<p>「リーディングプロジェクト」は、本市が抱える課題への的確な対応や「住み続けたいまち」の構築に向けて特に重要となる取組を各施策からピックアップするかたちで特出しして位置付けているものです。</p> <p>アピールの面からは、別途「リーディングプロジェクト」のみをまとめた記載（30・31ページ）もありますことから、こちらでアピールできているものと考えています。</p>
8	<p>前期基本計画の施策「子ども・子育て支援の充実」での「現状と課題」について、4つの段落に分かれているが、段落順でいうと4→3→1→2の順で記載するのが妥当ではないか。</p>	<p>ご指摘を参考に修正します。</p>
9	<p>前期基本計画の施策「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進」について、施策の展開方向で「健康で健全な心身を育む教育の推進」の部分で、食の取組については、経済活性化につながることから、その旨の記載を加えるべきではないか。</p>	<p>ここでは主に学校教育に関する施策について記載しており、「健康で健全な心身を育む教育の推進」に取り組む際の方向性の一つとして「食育学習」を位置付けているものです。</p> <p>ご指摘にありますように、食育については給食への地元農産品活用やPRと絡めることにより、地域経済の活性化へとつながることも期待されることから、38ページの施策「地域経済の活性化」の「農業振興」の方向性の中で整理しているところです。</p>
10	<p>前期基本計画の施策「若者世代の活躍支援と定住促進」での「現状と課題」について、6つの段落に分かれているが、段落順でいうと1→2→6→3→4→5の順で記載するのが妥当ではないか。</p>	<p>ご指摘を参考に修正します。</p>
11	<p>前期基本計画の施策「健康長寿社会の実現」について、施策の展開方向で「生活習慣病発症者と重症者の減少」を掲げているが、発症者の経験談や医療リスクなどの啓発活動が必要ではないか。また、医療機関にも協力を得ながら、高齢者を抱える家族などの負担を考慮し、急に発病した際などに慌てないよう、日頃からの支援が必要ではないか。</p>	<p>健康長寿社会の実現に向けて、疾病の早期発見と重症化の防止が主要な取組の一つとなることから、市民一人ひとりが自分ごととして取り組んでいただくため、市民へ向けた周知啓発活動の重要性は高いと認識しております。</p> <p>ご提案いただいた内容につきましては、具体的取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>

12	前期基本計画の施策「地域医療体制・感染症対策の強化」について、専門医療に特化した医療機関が少なく、そのような専門医療機関を市内へ呼び込むことを強化・支援したほうがよいのではないかと。	市民が安心して暮らすためにも、医療の確保は必要不可欠です。本市では、稲敷圏域の市町村・医療機関と連携して、それぞれを補いながら、地域医療の輪番制度など、適切な医療が受けられる医療体制の維持に努めているところです。 また、医療機関の進出意向などにも注視しながら、適切な医療体制の確保・維持に向けた支援に努めてまいります。
13	前期基本計画の施策「消防・救命体制の充実」について、地区におけるヘリコプター（特にドクターヘリ）の発着場を増やすことを進めるべきではないかと。	本市におけるドクターヘリ等の発着場所の候補地は、公共施設を中心に選定しております。発着場所の選定には、面積や周囲の樹木・家屋などの障害がある施設等がないことなどの条件があることのほか、関係機関との調整も必要となっていることから、ご意見を踏まえ、対応を検討してまいりたいと考えています。
14	前期基本計画の施策「健康長寿社会の実現」について、一口コラムで「Live119」を取り上げるべきではないかと。	「Creation」一口コラムについては、市民の本計画における各施策に対する理解を深めるため、本市の取り組む具体的な事業を中心に、用語やトピックスについて、できるだけ平易な形で記載をしたものです。 ご指摘の「Live119」は、茨城県の事業として行われており、市民にも制度の理解促進を進めるべきものでもありますことから、今後、本市の広報紙等を活用しながら、周知啓発を行ってまいりたいと考えております。
15	前期基本計画の施策「暮らしの安全・安心の確保」などについて、交通安全環境の向上として、道路及び民地の樹木剪定に関して触れられていない。民事で問題となることもあることから、計画で触れた上で、条例等を制定したほうがよいのではないかと。	道路用地へはみ出た樹木の剪定については、所管部署における通常の事務として、所有関係等を確認の上、対応を行っているところです。 また、条例化につきましては、ご意見を参考にさせていただき、必要性について検討を行ってまいりたいと思います。
16	前期基本計画の施策「暮らしの安全・安心の確保」について、施策の展開方向の「消費者教育の充実」は成人前に教育分野で指導しておく必要があることから、教育分野にも記載しておく必要があるのではないかと。また、消費の前に納税の必要性も授業などで指導すべきではないかと。	消費者教育については、18歳成人に伴い、中学生や高校生をはじめ、若者への周知啓発等の重要性が高まっているものと認識しています。 本計画の前期基本計画の施策においても、「「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進」の中で、シティズンシップ教育の推進を掲げており、個人の権利と責任など、社会の中で円滑な人間関係を築くための資質・能力を育成することとしております。 ご意見を参考にさせていただき、具体的な取組について検討してまいります。 また、納税の授業に関しては、現在も竜ヶ崎税務署と共同で納税教室を開催しており、今後も継続していきたいと考えております。
17	前期基本計画の施策「暮らしの安全・安心の確保」について、消費生活センターでは多様な知識が必要となるので、対応できるようにしておいてほしい。	ご提案を参考に相談体制の充実に努めてまいります。

	18	前期基本計画の施策「魅力ある都市拠点の形成」について、トラフィックスムーズ化を要請したい。右折箇所の渋滞などが目立っており、通行台数などを考慮し、改良の余地はあると考える。	市民の利便性を意識し、円滑な移動に資する道路環境の整備に努めてまいります。
	19	前期基本計画の施策「市民主体のまちづくりの推進」について、地域のコミュニティにおける若者の積極的な参加環境を創らなくてはならないと考える。若者の意見を尊重し、施策を展開していなければならないのではないかと考える。	若者のまちづくりへの参画については、施策「若者世代の活躍支援と定住促進」の中でも、若者世代の活躍支援を掲げており、地域や市民活動の担い手が高齢化している現状を踏まえ、高校生や大学生など、若い世代を中心に幅広い層の市民が活動できるような支援を展開していくこととしています。
	20	総合計画の下に関連する行政計画があると理解が深くなると考える。各部課においても計画を改訂するようお願いしたい。	序章の「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030の策定に当たって」の3ページ、「本計画の位置付け」に記載があるとおり、各所管部署の策定する分野別計画については、本計画と「相互補完」の関係にあり、今後、必要に応じて改訂等の作業を進めることとなります。
	21	具体的施策は事業計画ということか。また、給食センターや保健センターなどの施設の定義や他の計画でも変更すべき箇所があるかと考える。	本計画は、本市のまちづくりのあるべき方向性を大きく捉え、記載しているものでありますことから、個別具体的な施策や取組については、本計画を踏まえ、事業計画や予算などに反映することで具現化してまいります。また、定義や他の計画などについても、本計画を踏まえ、変更が必要な箇所がある場合については、適宜対応してまいります。
5	22	ゴミ拾いアプリの「ピリカ」を活用し活動をしているが、現状で自分を含め2名しか活動をしていないのが残念ではない。学校などの教育機関での「ピリカ」をPRしてはどうか。また、市長が率先垂範してSNSなどを通じてクリーン活動を発信してほしい。	本計画の施策でも「環境負荷の少ない地域社会の形成」を掲げ、カーボンニュートラルや循環型社会構築に向けたごみの発生抑制とリサイクルの推進、環境学習の推進について取り組むこととしています。ご提案いただいたアプリやSNSでの発信などについては、所管部署における具体的取組を行う際の参考にさせていただきます。
6	23	20歳代の若者の転出については、大手大企業、都市部の企業への就職希望や近郊の自治体にある企業への就職の傾向が原因ではないか。通勤も可能ではあるが、実家に帰れる距離感や都市部のアクセスのよさが近隣自治体への移住・就職傾向につながっている可能性がある。 圏央道の開通による高速道路へのアクセスの改善などを契機に企業の誘致や就労環境の改善・発展によって人口の流出を抑制すべきと考える。	定住人口確保に向けた人口流出抑制の取組の重要性は高まっているものと認識しています。 本計画の施策でもリーディングプロジェクトとして若者世代・子育て世代への支援と圏央道へつながる幹線道路沿線などをターゲットとしたまちの活性化につながる土地利用を促進することを掲げて取り組むこととしています。 そのような取組を着実に進めることで、人口流出の防止などを図ってまいります。

24	<p>近年、災害が大規模化し、東日本大震災のような予測できない災害も増え、大きな課題となっている。大震災からも10年以上が経過し、老朽化した建物の耐震性の問題もよく取り上げられており、公共施設については、安全性確保の点から調査、見直しを継続していただきたい。</p> <p>また、静岡県熱海市における盛土の土砂崩れの事件も記憶に新しく、市内における盛土の土地の確認と安全性の調査を進めていただきたい。</p>	<p>公共施設の耐震性などへの対応につきましては、本計画の前期基本計画の施策として「公共施設の「縮充」の推進」を掲げ、効果的・効率的な維持管理を進めることとしております。その中で、各施設における個別施設計画（長寿命化計画）を策定し、定期的な点検・メンテナンス及び修繕等を行い、市民の皆さんが安全に利用できるようにしてまいります。</p> <p>また、盛土につきましても、施策として「自然環境の保全と環境美化の推進」を掲げる中で、よりよい生活環境を維持し、安全・安心なまちづくりを推進するため、残土の適正利用と不法な処理への監視体制を強化することとしており、定期的にパトロールを実施するなど、危険箇所の把握に努めてまいります。</p>
25	<p>大規模な太陽光発電施設建設に当たっては、市への申請、近隣住民への説明を要するが、建設予定地からどのくらいの距離までの住民を対象として行うものなのか。</p> <p>また、パネル自体に人体に有害な物質が含まれることから破損時の土壌汚染も懸念される。安全性と安心のため、市民への注意喚起が必要ではないか。</p>	<p>本市では、事業区域の面積が500平方メートルを超える事業実施に際しては、「龍ヶ崎市自然環境等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」の規定に基づき、周辺の住民自治組織（自治会等）や発電施設に隣接する住民等への周知を行わなければならないと、要請に応じて説明会を開催しなければならないものとしています。なお、原則として、住民自治組織については発電施設の事業区域から300メートル以内に、隣接住民等については事業区域と隣接又は6メートル未満の距離にある土地の所有者及び居住者が対象となります。</p> <p>また、市民への注意喚起については、ご意見を参考にさせていただき、対応を検討させていただきます。</p>
26	<p>新型コロナウイルス感染症対策に関して、飲食店の取っている感染対策は、既に形骸化している印象を受けるが、そもそも現状の対応が本当に意義のあることなのか。過剰な感染対策を取らずとも、市民には意識向上が図られており、個々の判断に任せる段階になりつつあるのではないか。</p>	<p>飲食店における新型コロナウイルス感染症対策につきましては、国や県の定める感染症対策ガイドラインに沿って、各飲食店において取組をされており、本市でも、必要に応じて感染症対策に係る支援を行っているところです。</p> <p>飲食店も含めまして、市民の皆さまの感染症に対する意識は様々あるものと理解しておりますが、ガイドラインに沿った感染対策を行うことが現段階で最善のものと考えております。</p> <p>また、本計画の前期基本計画の施策としても「地域医療体制・感染症対策の強化」の中で、新たな展開方向として「感染症対策の強化」を掲げておりますことから、引き続き感染症対策の強化を図ってまいります。</p>
27	<p>空家や空き店舗が目立ち、防犯の意味でも活用の必要性はあると考える。行政が各個別事例に介入することは難しいとは思いますが、空家や土地の活用状況などを把握するだけでも住民としては安心できる面がある。</p>	<p>空家等の対策につきましては、空家の適正管理と利活用を大きな柱として取り組むべく、本計画の前期基本計画においても、施策として「良好な住環境の維持・創出」を設定しております。ご意見を参考にさせていただき、アクションプランなどを策定する中で、具体的な取組を検討してまいります。</p>

28	<p>観光に関して、龍ヶ崎市は自然豊かで、都市部からも遠くなく、立地的にはよいと思われる。雑誌に載るような大規模で、誰もが知っているものは少ないが、龍ヶ崎市にしかない材料は多くある。材料を活かした観光事業やプロモーションの手法が重要になってくると思われる。</p>	<p>観光につきましては、本計画の前期基本計画においても、施策として「地域資源を活用した観光まちづくりの推進」を掲げています。</p> <p>ご提案いただいた内容につきましては、具体的取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>
29	<p>牛久沼は美しい景観を残す自然遺産である。景観面では、廃屋が沿道にあり、目につく状態であることから対応が必要と考える。</p> <p>また、道の駅構想については、費用対効果に疑問点も多く、取手市での道の駅・ショッピングセンター建設構想との兼ね合いもあり、競合は避けられない。茨城県南地域の魅力発信の広告的役割を担ってもらうため、近隣自治体の事業に協力する方が現実的ではないか。市の債務残高比率が高い中、牛久沼周辺の開発は将来的に若い世代への負担をより大きくしてしまうことも考えられ、活用方法については検討の余地があると思える。</p>	<p>牛久沼については本市を代表する貴重な地域資源であると認識しており、本計画の前期基本計画の施策に掲げる「地域資源を活用した観光まちづくりの推進」の中で、交流の拠点としての牛久沼の有効活用に取り組むこととしております。</p>
30	<p>市内に散在する公園は、広々とし、居心地がよい。その中で、龍ヶ岡公園は多くの市民が利用しやすいところであるが、山にある遊具については、傾斜地にあるため、転倒・ケガのリスクがあり、平地にある方が安全だと考える。</p> <p>また、公園の草刈りについては、こまめに行ってもらえると、安全性も増し、安心して利用できる。</p>	<p>本市には街の特性に応じて様々な公園が整備されており、市内外から多くの方が訪れる龍ヶ岡公園をはじめ、まちの魅力の一つになっているものと認識しています。</p> <p>本計画の前期基本計画においても、より市民に愛される公園を目指して、魅力ある公園整備や利用環境の向上などに取り組むこととしており、ご提案いただいた安全性の確保にも十分配慮してまいりたいと考えています。</p>
31	<p>市内に大学があることの意義は大きい。大学との交流や市民向け講座は、今後も継続してよいと思う。その他、学食は学生以外でも利用できるようであるが、食事・カフェの提供として、市内飲食店との協賛イベントを企画してみるのも面白いのではないかと。</p>	<p>流通経済大学との連携につきましては、まちづくりの大切なパートナーであるとの認識の下、相互のメリットを前提に様々な「龍・流連携事業」を展開しているところです。</p> <p>今後も本計画の前期基本計画に掲げた施策「流通経済大学との連携の推進」にそって様々な取組を実施してまいります。</p>
32	<p>医師・歯科医師・看護師・保健師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など、医療職ごとに介護予防や健康づくりのイベントを企画してはどうか。</p>	<p>介護予防や健康づくりにつきましては、本計画の前期基本計画の施策に「健康長寿社会の実現」を掲げ、取組を推進することとしています。</p> <p>ご提案いただいた内容につきましては、具体的取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>
33	<p>市内には歴史民俗資料館はあるが、美術館はないため、市や民間のスペースを借りた企画展の開催は継続していただきたい。</p>	<p>ご提案を参考とさせていただきます対応に努めてまいります。</p>

7	34	<p>本計画に基づく下位計画（地域防災計画、国土強靱化地域計画など）を策定・改定する際は、ガスコージェネレーションなどの「自立・分散型エネルギーシステム」の導入をはじめ、エネルギーの多重化を進め、災害に強いまちづくりを目指すことを盛り込むことを提言する。</p>	<p>自立・分散型エネルギーシステムの導入につきましては、本計画の前期基本計画の施策「環境負荷の少ない地域社会の形成」の中で、施策の展開方向「カーボンニュートラルの実現に向けた対策の推進」を設定し、取り組むこととしております。また、防災の観点からも施策「防災・減災対策の推進」を掲げておりますので、災害に強いまちづくりについても推進することとしております。</p> <p>分野別計画やアクションプランなどを策定する際には、ご提案を参考にさせていただきます。</p>
	35	<p>本計画に基づく下位計画（環境基本計画、地球温暖化防止実行計画など）を策定・改定する際は、脱炭素社会への移行期における天然ガス（都市ガス）の有効利用を盛り込むことを提言する。</p>	<p>脱炭素社会の実現につきましては、本計画の前期基本計画の施策「環境負荷の少ない地域社会の形成」の中で、施策の展開方向「カーボンニュートラルの実現に向けた対策の推進」を設定し、取り組むこととしております。</p> <p>分野別計画やアクションプランなどを策定する際には、ご提案を参考にさせていただきます。</p>
8	36	<p>公共施設の縮充は必ず推進してほしい。その中で、小中一貫校の設置により不要となる学校用地について、全ての学校用地を公共施設に転用してしまうと、維持費だけで次世代に負担がかかり、費用対効果も気になる。旧学校用地には、通信制高校や企業を誘致したり、用地を売却するなどして、他の部分に予算を当てていただきたい。</p> <p>また、市民活動センターと教育センターは、坂の上であり、バスのアクセスが悪く、移転か分館を検討してほしい。</p> <p>加えて、29ページの「関連する分野別計画」に「都市計画マスタープラン」を追記しておく、別プランに反映しやすくなるのではないか。</p>	<p>本計画の前期基本計画に施策として「公共施設の「縮充」の推進を掲げ、公共施設の配置や総量の最適化、サービスの最適化などを推進することとしております。</p> <p>学校用地の活用方法及び市民活動センターと教育センターの移転等のご提案につきましては、公共施設再編成等を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>また、29 ページへの都市計画マスタープランの追記に関する部分につきましては、ご指摘を参考に修正します。</p>
	37	<p>本計画における政策の柱「子どもが健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり」について、施策の中に「若者」があるように、「子どもや若者が」と修正した方がよいのではないか。</p> <p>また、若者主体でまちづくりを行う取組や予算付けをするとよいのではないか。具体には、JR 龍ヶ崎市駅改札口や観光物産センターの内装を若者が自ら取り組むことを企画するといったことを提案する。</p>	<p>政策の柱の名称の追記につきましては、ご指摘を参考に修正します。</p> <p>また、若者主体のまちづくりの取組については、本計画の前期基本計画の施策「若者世代の活躍支援と定住促進」の中で、施策の展開方向「若者世代の活躍支援」を設定し、若者のまちづくりへの参画機会を増やすことに取り組むこととしております。</p> <p>ご提案については、アクションプランなどを策定する中で、参考にさせていただきます。</p>

38	<p>26ページの施策の体系における「関連する分野別計画」のうち、「教育プラン」のみを掲載している施策があるが、「地域福祉計画」などの計画も関わる複合的な計画の範囲だと思われることから、追記した方がよいのではないか。</p>	<p>施策の「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進については、施策の展開方向で「共生社会に向けた教育活動の充実」を掲げており、「地域福祉計画」との関連性もあることから、ご指摘を参考に修正します。</p>
39	<p>コミュニティセンターの利用について、5名以上の団体利用に限っているため、主催者が1人の場合、新たな市民活動を試しに開催することや募集がかけられない状況である。主催者が1人でも参加者が複数人集まれば、利用することができてよいのではないか。市民活動を主催する市民のモチベーションと手段を妨げており、ルールを見直してほしい。</p>	<p>本計画の前期基本計画の施策として「市民主体のまちづくりの推進」を掲げており、その中で地域における市民活動の活性化を図ることとしており、コミュニティセンターは、地域での活動拠点としての位置付けているところでは、ご提案につきましては、参考とさせていただき、所管部署で検討させていただきます。</p>
40	<p>景観がもたない箇所が複数ある。特に駅前や歩行者のいるエリアについて、常磐線ホームから見た西口の景色が殺風景で、降りてみたいまちと思わせにくい。空きテナントも募集をかけていないようなので、稼働を促してほしい。</p> <p>また、北竜台公園の園内マップも字や地図が薄れていて読めなかった。地図に花や木の種類が分かるような掲示にすることで活気ある公園と感ずるのではないか。</p> <p>加えて、龍宮通りの歩道を学生が自転車で走っているが、ススキなどで通りづらそうにしており、景観の印象も悪い。学生の満足度を上げ、雑草に対する恒久対応をしてほしい。</p>	<p>若者や子育て世代を呼び込み定住促進等につなげていくためには、街並みの美しさも重要な要素になるものと認識しています。</p> <p>本計画の前期基本計画の施策にも「魅力ある都市拠点の形成」を掲げ、まちの特徴を捉え、地域ごとにそれぞれ魅力ある拠点の形成を目指すこととしております。</p> <p>ご指摘の内容については、それぞれの箇所において具体の対策を検討させていただきます。</p> <p>また、公園や道路につきましては、施策として「機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備」を掲げ、活用や適切な維持管理に努めることとしております。</p> <p>ご提案いただいた内容につきましては、具体の取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>
41	<p>元気サロン松葉館やまいん健幸サポートセンターで高齢者向けの講座が開催されているが、エリアが限定的で、運転もでき体力もあるアクティブシニアに支援をかけるべきではないか。外出したいが引きこもりがちな介護予備群のシニアへの予防サポートを充実してほしい。</p> <p>また、さんさん館を利用できない4歳以上の子が夏休みや休日に楽しめるサポートも必要ではないか。</p>	<p>介護予防につきましては、本計画の前期基本計画の施策に「健康長寿社会の実現」を掲げ、取組を推進することとしております。</p> <p>また、4歳以上の子の居場所づくりにつきましては、同計画の施策「子ども・子育て支援の充実」の中で、施策の展開方向「地域での子育て環境の充実」を設定し、居場所づくりや世代間の交流機会の確保などに取り組むこととしております。</p> <p>ご提案いただいた内容につきましては、具体の取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>

	42	龍ヶ崎市駅前のバス乗り場について、全体路線図もなく、バス停も多いので、土地勘の低い人には分かりづらく不安を感じる。関東鉄道と連携して、視覚的に分かりやすいサインや掲示物があると市の印象アップにもつながるのではないか。	公共交通につきましては、本計画の前期基本計画の施策にも「快適でシームレスな移動環境の構築」を掲げており、利便性の向上を図ることとしております。 バスの利用に際し、利用者に分かりやすく、利用しやすいように取り組むことは、非常に大切なことであると認識しております。ご提案を参考とさせていただき、関係交通事業者や関係機関と連携を図りながら対応策を検討させていただきます。
	43	前期基本計画の施策「防災・減災対策の推進」について、減災対策に耐震しか記載がない。河川の増水や冠水対策など、減災対策は必要ではないか。排水口付近に枯れ葉が溜まるといった状況も見られ、ハザードマップ以上に大雨が来た際に冠水しないか不安である。	施策「防災・減災対策の推進」については、地震や水害も含めた大規模自然災害全般を意識した記載内容となっています。 また、冠水についてのご意見については、参考とさせていただき、適切な対応に努めてまいります。
	44	まいんバザール開催時に駐車場に空きがなく、諦めて帰ったことがある。他にも駐車ができず諦めて帰っている様子が見られ、交流機会を逃している状況を見直してほしい。例えば、他のエリア（北竜台公園など）に場所を隔月で変えるなどを考えてはどうか。	まいんバザールにつきましては、中心市街地活性化事業の一環として実施しているものであることから、別の場所において実施することは難しいのが現状です。 駐車場につきましては、ご意見を踏まえ、イベント実施の際には対応策を検討させていただきます。
9	45	持続可能な地域社会の構築の土台となる市民の幸福度を上げるためにも、ウェル・ビーイングの概念を取り入れ、市民と共有できれば誰もが幸福を感じ、まちに住んでよかったと思えるようになるのではないか。	行政が取り組む施策や成果を測る指標などにウェル・ビーイングの概念を取り入れる事例が徐々に増えてきており、例えば、今年度策定された「第2次茨城県総合計画」でも中心的な理念に据えているといったことについては、把握しております。 本計画でも、前期基本計画の各施策における成果指標に市民の「満足度」を多く設定することで、市民の幸福感（満足感）を客観的に数値で捉え、PDCAサイクルの中で、施策の展開に活かしていくことを考えているところです。
	46	イベントの運営に市内各高校からボランティア参加してくれた学生との会話の中で、地域への関心の醸成や市民活動に積極的に関わってみたい、といった意見が多くあった。市民団体と高校生との交わりから新たな人流や交流が生まれ、市民としてのアイデンティティも構築されるのではないか。	若者の市民活動の参画については、本計画の前期基本計画の施策「若者世代の活躍支援と定住促進」の中で、施策の展開方向「若者世代の活躍支援」を設定し、若者のまちづくりへの参画機会を増やすことに取り組むこととしております。 本計画の策定の過程におきましても、「高校生政策アイデアコンテスト」の開催やオンラインツールを活用したワークショップなどを実施し、政策提言をいただくなど、若者がまちづくりへ参画しやすい環境を整え、取り組んできたところです。 これらの取組をベースとして、ご意見を参考にさせていただきながら、アクションプランなどを策定する中で、具体的な取組を検討してまいります。

47	<p>関係人口の創出について、市公式フェイスブックやツイッターでの情報公開共有をもっと積極的に行ってほしい。ライブ配信や音声配信もツールとしてあるので、市職員と市民がリアルタイムで共有しながら情報発信することで、地域外の関心も増えて関係人口増加につながるし、緊急時の情報発信共有体制を即時にとることが可能となるのではないか。</p>	<p>本市では、フェイスブックやツイッター、LINEといったSNSツールを活用しており、情報の拡散力や即時性、双方向のやり取りが可能となるなど、情報発信において非常に有効な手段の一つであると認識しております。</p> <p>情報発信については、本計画の前期基本計画の施策「市民主体のまちづくりの推進」の中で、施策の展開方向「市民と行政の相互理解・情報共有の強化」を設定し、ICT機能を活用した情報発信の強化について取り組むこととしております。</p> <p>ご意見につきましては、アクションプランなどを策定する中で、具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
48	<p>龍ヶ崎市は長期にわたり子育てを標榜し、政策推進されていると思うが、LGBTQの方々をはじめ、子どものいない世帯など、いわゆるマイノリティーの方々にとっても心穏やかに生きやすいまちを目指して進めてほしい。</p>	<p>本計画の前期基本計画の施策に「多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現」を掲げ、ダイバーシティの考え方に基づく共生社会の実現に向けた取組を推進していくこととしております。</p> <p>ご意見につきましては、アクションプランなどを策定する中で、具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>